

人間力を高め、夢と希望を育み、笑顔あふれる学校

【学校運営協議会・会長】 有馬 光彦
 学校運営協議会（学校評価分） 第1回 7月 7日（木）
 第2回 11月10日（木）
 第3回 2月16日（木）

様式4

経営理念	人間力を高め、夢と希望を育み、笑顔あふれる学校		自己評価		分析コメント (学校関係者評価委員会の意見、児童・生徒評価、保護者評価等の意見について、参考にする。)	改善策 (来年度の目標設定、具体記な取組目標)	学校関係者評価			
	経営目標 (中期・短期を明記)	目標達成のための方策	評価指標	最終評価			意見	評価点 (4点満点)		
				7月					12月	
確かな学力の向上	◆(中期) 学習意欲、思考力・判断力・表現力の向上 ◆(中期) 知識・技能の確実な定着	◇ 授業改善推進プランに基づき、「学習意欲、思考力・判断力・表現力」の向上と「知識・技能」の定着を図る。	○保護者アンケートによる肯定的評価の割合 ○第5学年都調査と類似問題の結果の比較	80	88.8	A	●(本校の取組に対する)学力に関する肯定的評価(取り組んでいる) 【関心・意欲・態度】86.9% 【思考・判断・表現】76.0% 【基礎・基本】85.4% ●都学力調査と類似問題の結果の比較 【思考・判断・表現】10.7P↑(40.5%→51.2%) 【技能】14.7P↑(46.4%→61.1%) 【知識・理解】4.2P↑(60.9%→65.1%) 【正答率】9.4P↑(51.7%→61.1%)	【目標設定】 努力を要する児童に対して、適切に支援する。 【取組目標】 ①授業中…「指導」「支援」「評価」の一体化の徹底を図る。②課外…なるほど算数塾、夏の八小塾(夏季休業)、特進教室等の参加を強化する。	● 学力の向上について、講座(なるほど塾、等)、方法(採点補助、等)、評価(習熟度、等)など、学校が主導しても、学校運営協議会と意見交換し、その向上を図るための積極的な提案や認識を共有する必要がある。 ● 学校運営協議会は、主体性をもって児童の学力向上に努める(「夏の八小塾」の主催)。 ● 保護者会の参加率向上のための工夫については、学校の努力に期待したい。	4
	◆(中期) 保護者・教育支援ボランティア(地域)を活用した共同活動の推進	◇ 「繰り上がり」「繰り下がり」の徹底を図る。(基礎学力の定着) ◇ 「かけ算九九」(基礎学力の定着)…11月、3学期末 ◇ 「八小なるほど塾」(基礎学力の定着)…2学期に実施「詩の暗誦」(基礎学力の定着)	○「伸びゆく子」の評価	80	86.3	A	●第5学年【算数科】※左から順に「よくできる」「できる」「もう少し」の割合 1学期…38.3% 46.2% 15.6% 2学期…36.8% 45.3% 17.8% 3学期…45.3% 41.3% 13.4%	【目標設定】 努力を要する児童に対して、適切に支援する。 【取組目標】 ①授業中…「指導」「支援」「評価」の一体化の徹底を図る。②課外…なるほど算数塾、八小塾(夏季休業)、特進教室等の参加を強化する。		4
	◆(中期) 家庭での学習習慣の定着	◇ 家庭学習の意味を保護者と共通理解し、「学年×10分間」の家庭学習を行う。	○児童による肯定的評価の割合 ○保護者アンケートによる肯定的評価の割合	80	95	A	●家庭学習に関する肯定的評価 【児童】72.2%(自分は取り組んでいる) 【保護者】84.8%(学校は取り組んでいる)	【目標設定】 家庭学習の意義、内容、時間について、共通理解を図る。 【取組目標】 ①家庭学習についての調査を行う。対保護者…年4回、児童…年1回、教員…年1回 ②学校だよりに、その意義について周知する(年1回)。		3
豊かな心の育成	◆(中期) 明るい挨拶や会釈のできる子供の育成	◇ 「挨拶の励行」を推進する。	○児童の行動について内部の肯定的評価の割合 ○児童による肯定的評価の割合 ○保護者アンケートによる肯定的評価の割合	80	93.8	A	●「挨拶の励行」に関する肯定的評価 【教職員】88.0%(育成している) 【児童】87.0%(自分は取り組んでいる) 【保護者】78.0%(学校は取り組んでいる)	【目標設定】 自らすすんで挨拶をする。 【取組目標】 自ら先に、時と場に相応しい挨拶をする(保護者アンケート…肯定的評価80%以上)。	● 下校中の児童に挨拶すると、きちんと返してくるという話も聞く。挨拶を中心に、礼儀正しく行動し、規範意識をもって生きることのできる児童の育成の継続を期待する。特に、挨拶の根底にある他者を敬ったり他者に感謝したりする心の育成を、重点に置いてほしい。	4
	◆(短期) 話を一度で聞き取る子供の育成	◇ 「教室の中で話しているのは一人」を推進する。		80	87.5	A	●「話しているのは一人」に関する肯定的評価 【教職員】68.0%(育成している) 【児童】85.2%(自分は取り組んでいる) 【保護者】81.2%(学校は取り組んでいる)	【目標設定】 学年や全校で集まる場における「話している人は一人」を徹底する。 【取組目標】 「人が立つ前に、静まっていること」の視点で、適時評価する。		3
	◆(中期) 人権感覚や思いやりの心の育成	◇ 【德育科】指導法、評価方法、指導資料の開発を柱に、豊かな心の育成を図る。		80	97.5	A	●「德育科」に関する肯定的評価 【教職員】84.6%(育成している) 【児童】83.8%(自分は取り組んでいる) 【保護者】83.8%(学校は取り組んでいる)	【目標設定】 「礼節を大切に、自分に厳しく人に優しく、主体的に集団と社会に働き掛ける児童の育成」を実現する。 【取組目標】 研究の成果を、児童の所作として表せるようにする(校外学習、研究発表)。		4
健やかな体の育成	◆(短期) 「早寝、早起き、朝ご飯、歯磨き」の徹底	◇ 2学期に実施する生活リズムカードにより意識付ける。	○調査結果の割合	80	96.3	A	●生活リズム調査から 調査期間:平成28年9月2日～7日 抽出児童:1年、3年、5年から計516名 ●就寝時刻 1年…最多21:00 遅23:00 3年…最多21:30 遅0:10 5年…最多22:00 遅2:00 ●朝ご飯 摂っている児童の割合…97.9%	【目標設定】 早寝、早起き、朝ご飯、歯磨きの目標数値を設定する。 【取組目標】 ①学年だよりや保護者会で生活リズム調査の結果を取り上げ、各家庭の改善を促す。②学校保健委員会で学校医の指導を仰ぎ、学校だよりで周知する。	● 生活リズムについては、保護者への啓発をより積極的に行ってほしい。 ● 新体力テストにおいては測定補助、持久走大会においてはコースの安全確保として、支援を続けている。そうした中で、児童の体力に関する実態を感じ、学校と地域とが協働で増進を図る手だてを探りたい。	2
	◆(中期) 運動好きの児童の育成	◇ なわとび集会、八小体操の機会、マラソン週間、学級全員遊びの機会を充実させる。	○新体力テストの結果 ○児童による肯定的評価の割合	80	96.3	A	●新体力テストの結果(全国比) 上回った運動…12.5% 同程度…10.4% 下回った運動…77.1% ●「運動、外遊び」に関する肯定的評価 【児童】88.1%(すすんでしている)	【目標設定】 新体力テストにおいて、全国比で下回る運動を60%以下にする。 【取組目標】 体育の授業(45分間)において、児童の活動時間を30分以上確保する。		3
教師としての質の向上	◆(中期) 「思考力・判断力・表現力」の育成を目指し、問題解決型の学習過程を身に付けること	◇ 全教員が「八小授業スタンダード」に基づいた授業を1週間に5回以上行う。	○授業後の自己の肯定的評価の割合	80	83.8	A	●「問題解決型の学習過程」に関する肯定的評価 【教職員】62.5%(努めている) 内訳 よくできた…8.3% おむねできた…54.2%	【目標設定】 問題解決型の指導法を習得する。 【取組目標】 ①問題解決型の学習過程の研究授業を行う(全教員年1回以上)。②人材育成を図る組織を新設する。	● 学校運営協議会は、実際には学校の教育活動を支援する側に立つことが多い。児童の健全育成の主たる担い手は、学校の教職員である。その責務を十分に自覚し、日々の児童の健全育成に努めてもらいたい。 ● 学校運営協議会は、教職員の児童に関わる時間の確保や指導に関わる支援が十分に行えるよう、環境の整備や協議会の関わり方を工夫し、教職員の負荷の軽減を図るよう努力する。	3
	◆(中期) 教師の専門性を生かし、一人一人の指導力向上に努めること	◇ 全教員が「一人一研究」に基づいた研究授業を年2回以上行う。	○授業後の自己の肯定的評価の割合	80	98	A	●「指導力向上に努めること」に関する肯定的評価 【教職員】80.8%(努めている)			3
	◆(中期) 児童の健全育成、安全対策を推進するために、地域・家庭との連携を深めること	◇ 教員それぞれが、年間6回程度PTA活動や地域行事へ参加する。 ◇ 学級からの配布物、電話、面談、家庭訪問などの手段を用いて、適宜保護者と連絡を取る。	○自己の肯定的評価の割合 ○保護者アンケートによる肯定的評価の割合	80	99	A	●「地域・家庭との連携」に関する肯定的評価 【教職員】86.9%(育成している) 【保護者】83.7%(学校は取り組んでいる)	【目標設定】 学校の取組を広く知らせる。 【取組目標】 ①授業参観と保護者会を同日に行い(年1回)、保護者会の出席率の向上を図る。②PTA運営委員会で学校の意向を知らせる(毎回)。		4

平均値 3.36

【達成度】 = [達成値] / [目標値]

【評価】 A: 8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定

B: 8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施

C: 5割未満→目標の見直し